



中 田 小	学 校 教 育 目 標 さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます。
平成29年2月28日	中田小ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/



「想い」のリレー

校長 蒲谷 猛

『花』

作詞：武島羽衣

作曲：滝廉太郎

春のうららの 隅田川
 のぼりくだりの 船人が
 權 (かひ) のしづくも
 花と散る
 ながめを何に たとふべき

見ずやあけぼの 露浴びて
 われにも言ふ 桜木を
 見ずや夕ぐれ 手をのべて
 われさしまねく 青柳を

錦おりなす 長堤に
 くるればのぼる おぼろ月
 げに一刻も 千金の
 ながめを何に たとふべき



横浜では最大瞬間風速21.7mという台風並みの「春一番」が寒気を一気に吹き飛ばし、春の暖かさがやってきました。

昨日、本校のPTAのOB組織である「まつなえ会」のバス旅行に参加させていただき、春めく南房総に行ってきました。うらかな春の日差しが降り注ぐ一日で、遠くに広がる菜の花の黄色も、きらめく海面の白色もとても明るく輝いていました。

それにも増して心に残ったことは、車中で、また、立ち寄った場所場所でうかがったお話です。廃品回収をしながら資金を集め、大変な労力をかけて式典・祝賀会をつくり上げてくださった30周年当時の話。「さくらまつり」がどのように立ち上げられ、今に引き継がれるようになったのかという話。それぞれの方々が熱い想いをもって中田小の子どもたちのために心血を注いでくださっていたことがわかるエピソードから、65周年を迎えた本校の歴史は、綿々と受け渡される想いのバトンパスによって支え続けられているのだと、改めて認識させられました。

話が変わりますが、先週の金曜日には、6年生が桜の植樹を行いました。例年は「さくらまつり」の折りに、その年の6年生が参加して行う植樹ですが、今年度同窓会の方々が用意してくださった桜が「いずみ桜」という早生の品種のため、「さくらまつり」まで植え付けを待つことができないことから、この時期の植樹式となりました。何十年も先を見越して、本校が泉区一の桜の名所であり続けるようにこの取組をしてくださっているのも、同窓生のみなさんの母校への想いです。

まもなく6年生が本校を巣立っていきます。6年間、保護者の皆様、地域の皆様と本校の職員とで手塩にかけて育ててきた中田小ブランドの子どもたちです。たくさんの「想い」が注ぎ込まれたこの中田小学校に学んだという誇りを胸に、次のステージでさらに自分磨きに励んで活躍して行ってほしいと願っています。

今年度も最終の月となりました。皆様にご協力いただいたアンケートや日頃お寄せいただいている声を手がかりに今年度の取組を振り返り、一年ずつ進級する1～5年生の子どもたちと、さらに充実した学校生活を作っていくことができるよう次年度につなげていこうと思います。今年度の本校教育活動へのご理解とご協力、本当にありがとうございました。